

土佐和紙総合戦略（H30～R4）評価シート（様式案）

資料6

目標値	R5年度：7.0億円	実績				目標
	機械すき 6.0億円 手すき 1.0億円	H30	R元	R2	R3	R5
	全体	5億9千万円	5億8千万円	4億8千万円	調査・集計中	7億円
	うち機械すき	4億8千万円	4億7千万円	3億9千万円		6億円
	うち手すき	1億1千万円	1億1千万円	9千万円		1億円

【5段階評価】課題解決に向けて

- 1 進んでいる
- 2 やや進んでいる
- 3 変わらない
- 4 やや遅れている
- 5 遅れている

基本方針	課題	取り組み内容	評価及び課題
① 土佐和紙の原料確保	<ul style="list-style-type: none"> ・原料生産体制の確保 ・原料取引価格の適正化 ・鳥獣被害対策 ・活動資金の調達 ・川中・川下との交流(二一ス共有) 	<p>◎情報共有の場の提供、生産体制の確立</p> <p>(1) こうぞ生産者と和紙生産者との意見交換会の開催【R3】 こうぞ生産者及び和紙生産者8名、関係団体及び関係機関15名、事務局5名が参加。県内格の現状と課題の情報共有を行った。 ≪工業振興課、手すき和紙協同組合、製紙工業会、いの町、土佐市、環境農業推進課、仁淀川地域本部、紙産業技術センター≫</p> <p>(2) 楮についてのワークショップの開催【R3～】 (1)の意見交換会にて情報共有した課題の解決に向けた新たな取組を実施するため、ワークショップを開催。第1回は、こうぞ生産者及び和紙生産者6名、関係団体及び関係機関9名、事務局4名が参加し、参加者で取り組みのアイデア出しを行った。 ※第2回は、新型コロナウイルス感染症の影響により、開催延期。 ≪工業振興課、手すき和紙協同組合、製紙工業会、いの町、土佐市、環境農業推進課、仁淀川地域本部、紙産業技術センター≫</p> <p>(3) こうぞ生産が可能な土地の情報収集、あっせんに向けた試験栽培の実施【R元～】 県内3箇所試験栽培を実施。うち2箇所は生育不良及び獣害被害により廃止することとなった。残りの1箇所においては、試験栽培を継続中。R4年度に収穫後、分析のうえ、生育状態等を検証する。 ≪工業振興課、紙産業技術センター≫</p>	<p>評価</p> <p>(評価の理由)</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>(意見)</p> <p>例：活動に対する課題、改善策 など</p>

目標値	R5年度：7.0億円	実績				目標
	機械すき 6.0億円 手すき 1.0億円	H30	R元	R2	R3	R5
	全体	5億9千万円	5億8千万円	4億8千万円	調査・集計中	7億円
	うち機械すき	4億8千万円	4億7千万円	3億9千万円		6億円
	うち手すき	1億1千万円	1億1千万円	9千万円		1億円

【5段階評価】課題解決に向けて

- 1 進んでいる
- 2 やや進んでいる
- 3 変わらない
- 4 やや遅れている
- 5 遅れている

基本方針	課題	取り組み内容	評価及び課題
② 用具の確保と土佐和紙生産者の後継者育成	・用具製作職人の確保（糞桁、金具） ・手すき和紙職人の確保（後継者の掘り起こしと産地への定着）	◎用具不足への対応、人材育成、用具技術の数値化 （1）いの町所有の糞桁の修繕及び貸し出し体制の構築【R元～】 いの町に寄贈されている糞桁の修繕を実施。R2年度には、いの町にて貸出規約を制定し手すき和紙職人に対して貸出しを開始。 貸出し実績：R2 1件 <p style="text-align: right;">《いの町、仁淀川地域本部》</p>	評価 （評価の理由）
		（2）用具製作技術者の育成 文化庁補助事業を活用し、用具製作技術者育成に向けた研修を実施。 研修会開催回数：H30 〇回、R元 〇回、R2 〇回、R3 〇回 技術者研修修了者数：H30～R3 〇名（R4 〇名修了予定） <p style="text-align: right;">《文化財課》</p>	意見 例：活動に対する課題、改善策 など
		（3）用具寸法の数値化【H30】 いの町に寄贈された桁の金具の高さや寸法について、数値化できることを確認した。寸法計測方法確立済み。今後、用具制作研修生へフィードバックする等活用方法について検討していく。 <p style="text-align: right;">《工業振興課》</p>	
		◎手すき和紙の人材育成 （4）手すき和紙職人の後継者掘り起こしの実施【R元～】 <ul style="list-style-type: none"> ・「高知求人ネット」での情報発信を実施。多くの問い合わせをいただいたが、研修の受入れ体制が整っておらず、掲載中止。 求人ネット問い合わせ件数：H30 8件、R元 15件 その他相談件数：H30 1件、R元 7件、R2 2件、R3 2件 ・移住希望者対象イベント「高知暮らしフェア」に出展。伝統産業に興味のある方へPRを行った。 出展実績：R元 大阪1回・高知1回、R2 東京1回 ・ものづくり総合技術展の伝統産業ブースにて、後継者育成事業の研修生の紹介や作品の展示をし、PRを行った。（R元、R3） <p style="text-align: right;">《工業振興課》</p>	評価 （評価の理由）
		（5）手すき和紙職人の後継者育成 伝統的工芸品産業等後継者育成対策事業費補助金を活用し、2年間の長期研修により後継者の育成及び支援を実施。 育成実績：R元～R2 2名が研修修了 ※R4年度は、新たなメニューを追加し、長期研修修了生を中心とした販路開拓に向けた市場調査に係る経費を補助。研修修了後の販路開拓も推進。 <p style="text-align: right;">《工業振興課、手すき和紙協同組合、いの町、土佐市》</p>	意見 例：活動に対する課題、改善策 など

目標値	R5年度：7.0億円	実績				目標
	機械すき 6.0億円 手すき 1.0億円	H30	R元	R2	R3	R5
	全体	5億9千万円	5億8千万円	4億8千万円	調査・集計中	7億円
	うち機械すき	4億8千万円	4億7千万円	3億9千万円		6億円
	うち手すき	1億1千万円	1億1千万円	9千万円		1億円

【5段階評価】
課題解決に向けて
1 進んでいる
2 やや進んでいる
3 変わらない
4 やや遅れている
5 遅れている

基本方針	課題	取り組み内容	評価及び課題
③ 土佐和紙のPR・販売促進・新商品開発	<ul style="list-style-type: none"> ・土佐和紙のブランド力強化 ・土佐和紙を使用する機会の創出 ・販路の開拓 ・新たな商品開発 	◎「土佐和紙」のブランド力の強化 (1) 土佐和紙製品PRパンフレットの作成【R元】 手すき和紙協同組合の組合員のうちパンフレットに掲載を希望する12事業者を取材し、パンフレットを作成。 生産者の情報だけでなく、紙のサンプルを貼り付けることで、より鮮明に土佐和紙の魅力を発信。 ≪工業振興課≫	評価：----- （評価の理由） ----- （意見） 例：活動に対する課題、改善策 など
		(2) 土佐楮にこだわった認証制度の創設【R元～】 土佐和紙ブランド力の向上を目的に、土佐楮を使用した土佐和紙を「土佐楮和紙」として認定する制度の創設を検討。引き続き、ブランドとしての価値創造の方向性について検討していく。 ≪工業振興課、手すき和紙協同組合、製紙工業会、紙産業技術センター≫	
		◎土佐和紙PR (3) 高知家プロモーション等でのPR実施【H30～】 <ul style="list-style-type: none"> ・地産地商外商公社発信のニュースレターによる情報発信やSNSを通じた情報発信を実施。 SNSによる情報発信件数：R1～ 28回 ニュースレターによる情報発信：2回 ・その他、県内施設でのワークショップ実施等によりPRを行った。 ≪工業振興課≫	評価：----- （評価の理由） ----- （意見） 例：活動に対する課題、改善策 など
		(4) イベント等でのPR <ul style="list-style-type: none"> ・首都圏での「土佐和紙展」の開催や、台湾ギフトショー及び東京オリンピック・パラリンピック関連イベント等への出展によるPRを実施。 R元：土佐和紙展開催、伊東屋「KOCHI STYLE」出展、ギフトショナリー台北2019出展 R2：出展実績なし R3：東京オリンピック・パラリンピック関連イベント「Tokyo Tokyo ALL JAPAN COLLECTION」出展 ・その他、ホテルオークラ東京や県内施設にて展示を行うとともに、いの町ではKamijie祭を開催する等幅広い層へのPRを行った。 ≪工業振興課、手すき和紙協同組合、製紙工業会、小津和紙、いの町、仁淀川地域本部≫	
		◎販売促進 (5) 販路開拓 <ul style="list-style-type: none"> ・国内外で実施される見本市や商談会への出展を支援 出展回数：H30 〇回、R元 〇回、R2 〇回、R3 7回 ・ものづくり総合技術展への出展及び県外ハイヤーの招聘により商談機会を提供。 ・伝統的工芸品産業等後継者育成対策事業費補助金に新たな事業を追加。 長期研修修了生を中心とした販路開拓に向けた市場調査に係る経費を補助【R4～】 ≪工業振興課、手すき和紙協同組合、製紙工業会、産業振興センター≫	評価：----- （評価の理由） ----- （意見） 例：活動に対する課題、改善策 など
		(6) 販売促進 <ul style="list-style-type: none"> ・高知城歴史博物館や歴史民俗資料館、いの町紙の博物館、土佐和紙芸村等で土佐和紙製品の販売を実施。 ・いの町紙の博物館販売コーナーをリニューアル。集客力及び売上向上を目指す。 ・伝統的工芸品及び特産品のデジタルパンフレットの製作を開始。職人紹介から商品購入までに導く内容で製作し、情報発信することで販売促進を支援する。【R4～】 ≪工業振興課、手すき和紙協同組合、製紙工業会、いの町、仁淀川地域本部≫	
		◎新商品開発 (7) 新商品開発への支援実施 紙産業技術センターの設備を活用し、新商品開発のための技術支援を実施。また、土佐和紙に関する研究を行い、研究結果を新商品開発の際に活用していく。 技術支援実績：H30 〇回、R元 〇回、R2 〇回、R3 12回 ≪紙産業技術センター≫	評価：----- （評価の理由） ----- （意見） 例：活動に対する課題、改善策 など

目標値	R5年度：7.0億円	実績				目標
	機械すき 6.0億円 手すき 1.0億円	H30	R元	R2	R3	R5
	全体	5億9千万円	5億8千万円	4億8千万円	調査・集計中	7億円
	うち機械すき	4億8千万円	4億7千万円	3億9千万円		6億円
	うち手すき	1億1千万円	1億1千万円	9千万円		1億円

【5段階評価】
課題解決に向けて

- 1 進んでいる
- 2 やや進んでいる
- 3 変わらない
- 4 やや遅れている
- 5 遅れている

基本方針	課題	取り組み内容	評価及び課題
④ 土佐和紙文化の発信と 無形文化遺産登録		◎土佐和紙文化の啓発	評価：（評価の理由）
		(1) 県立施設等での活用や企画展の実施 高知城歴史博物館の施設内での和紙の活用や高知城歴史博物館やオーテピアみらい科学館での企画展開催、さらには歴史民俗資料館等でワークショップを開催し、PRを行った。 ≪工業振興課、土佐市、いの町≫ (2) 教育現場での啓発活動の実施 いの町紙の博物館での課外学習を実施するとともに、副読本（高知市、土佐市、いの町教育委員会発行）に掲載し、啓発活動を行った。 ≪工業振興課、土佐市、いの町≫ (3) 観光分野での活用による啓発【R3～】 JR四国運営の県内を走る観光列車において、記念乗車票に土佐和紙を活用。さらには、照明器具の一部にも土佐和紙を活用し、啓発を行った。 ≪いの町≫ (4) 紙とあそぼう作品展の開催 高知県下の児童・生徒から「紙」を使って製作した作品を募集・展示する「紙とあそぼう作品展」を開催し、紙の博物館や土佐和紙のPRを行った。 ≪工業振興課、手すき和紙協同組合、製紙工業会、いの町、紙産業技術センター≫ (5) 国際版画トリエンナーレ展の開催 国際的に評価が高い版画展である「国際版画トリエンナーレ展」を3年に1回開催。国内外向けに土佐和紙や版画文化の知名度向上を図る。 ≪工業振興課、手すき和紙協同組合、製紙工業会、土佐市、いの町、紙産業技術センター≫	(意見) 例：活動に対する課題、改善策 など
		◎ユネスコ無形文化遺産への登録	評価：（評価の理由）
		(6) ユネスコ無形文化遺産への登録に向けた土佐和紙保存会の活動支援及び技術保持団体の設立 R元年度には美濃和紙から講師を招聘した研修会の開催等を行い、土佐和紙保存会の活動を支援。技術保持団体設立に向けては、土佐和紙保存会と協議のもと方向性等を再検討していく。 ≪文化財課、手すき和紙協同組合≫	(意見) 例：活動に対する課題、改善策 など